

Q

私はユタコヤヤーで、いつも5人のユタに相談します。曾祖父（そうそふ）は戦前、ウーヅ刈りの出稼ぎに来た人が亡くなったとき、コンクリートの位牌を作り、台所のヒヌカンの左隣に置きました。先日、その遺族の方が突然訪ねてきて、位牌を90年ぶりに瀬底島へ引き取りたいとのこと。ユタA・Bは「もうヒヌカンの守り神になっていくから渡してはいけない」といい、ユタC・D・Eは「ウマイジマ（出身地）の瀬底島に返してあげなさい」といいます。帰依さんは、どっち派のユタでしょうか？（うるま市・Nさん70代）

A

Nさん、たくさんさんのユタの先生と懇意にされているのですね。おっしゃる通り、アドバイスが異なるとき、判断に悩まれることでしょう。各先生の正誤を求めることも大切ですが、ジンブン（教養）深き『琉球・沖縄のしきたり』の観点から、当時のウフタンメー（曾祖父）さまのお心内を尋ねてみるのもなります。

ティガネーイフェー・タビートローメー（旅位牌）とは

戦前・戦後、沖縄では、サト

ウキビの収穫シーズンになると、多くの方々がいろいろな地域からお手伝いに来られていたそうです。私は、旧石川市・旧コザ市・中城村・旧具志頭村で耳にしたお話ですが、大変な労力の中、お手伝い途中で亡くなる方々もたくさんおられたのだとか。とある地域では、ご遺体を土葬したり、風葬したり、ご身内を探しきれないとき、心ある方々はヒジユルグワンス（無縁仏）にならないよう、お引き取りになるその日まで、さまざま場所へカリイフェー（仮位牌）としてカリウンチケー（仮案内）し、大切にご供養されていたのだそうです。このカリイフェーのことを『琉球・沖縄のしきたり』では、ティガネーイフェーとかタビートローメーといっています。意味は、お手伝いの方のお位牌、いろいろな地域から来られた方々旅人の方のお位牌ということなのでしょう。

ウフタンメーさまは、多分、ユタの先生のアドバイスを受け、コンクリートに文字を彫り込んだカリイフェーを選ばれたのではないしょうか。ここで考えなければならぬのは、ご自宅のどの場所へこのカリイフェーをカリウンチケーするかという問題です。もちろん、ニバンジャー（二番座・仏間）にある

わが家のお仏壇にはウンチケーできない訳です（ティガネーイフェーやタビートローメーは、チーシジ・ヤーシジイフェー（血筋・家系位牌）であるわが家のお位牌とは異なりますので。故に、台所のヒヌカンの左隣に置いた判断は、ある程度、その経緯を想像できます。

ティガネーイジマイ（手伝い終い）とイフェーノーシ（位牌直し）

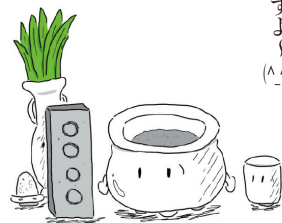
今回、瀬底島からお見えになるご遺族の方は、Nさん宅で、ヌジファウグワンス（遷座御願）をされるのではないのでしょうか？ これは、カリイフェーであるティガネーイフェーをウマイジマへご案内する『琉球・沖縄のしきたり』の手順の一つです。別名、故人さまのウーヅ刈りのお手伝いが終了したことにもなりますので、ティガネーイジマイともいえるでしょう。

ユタA・Bの先生方がおっしゃる「もうヒヌカンの守り神になっている」とのお気持ち、90年の歳月からすれば、理解できなくもありません。一方、ウフタンメーさまがヒヌカンの左隣にティガネーイフェーをカリウンチケーしていたのは、この場所がヒヌカンの下座に該当し、いずれお引き取りがあると

きには、容易にティガネーイのヌジファウグワンスができるようにとのご配慮があつてのことかとご推測できます。ご遺族の方は、コンクリートに文字を彫り込んだカリイフェーから、四十九日のシリイフェー（白木位牌）と同じように、イフェーノーシしてホンイフェー（本位牌）のトローメーに切り替えることでしょう。

当時のウフタンメーさまは、ユタC・D・Eの先生方がおっしゃる「ウマイジマに返してあげる」ことを想定されていたのかもしれませんが、この点から、Nさんには、ウフタンメーさまのお心内に従い、当日は、ティガネーイフェーを温かくお見送りしてあげていただければと思います。そして、ウフタンメーさまのチムジュラサル（人情深き）お人柄をわが家の誇りとして、ぜひ次世代にも語り継いでいただければと思います。

追記…Nさん、ちなみに私……ユタの先生ではないですよ（^ ^）



イラスト／帰依剛龍

帰依 龍照（きえ りゆうしやう）

1968年生まれ、岡山県出身（58歳）／学歴：岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野：哲学（宗教哲学）／沖縄県芸能事務所「FECオフィス」所属タレント／FMコザ・ラジオパーソナリティ／球陽寺（コザ本願寺）HP: <https://www.kyuyoji.com>

【球陽寺（コザ本願寺）・YouTubeのご紹介】 副住職・帰依剛龍師が仏教・浄土真宗・『琉球・沖縄学』をYouTubeでわかりやすくご紹介しています。『沖縄のしきたり』の入門編として、ぜひご覧ください。

